

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児デイサービス トムテンジュニア岩出		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日	~	令和7年11月1日
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	2	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日	~	令和7年11月1日
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月6日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・積極的な外出の企画 ・季節ごとの行事の開催企画	・利用決定おカレンダーは毎月制作にて、利用児に作成してもらい、自分の作ったカレンダーに送迎時間を記載し、持つて帰ってもらっている。	・外出がより充実できるよう、スタッフの増員をしつつ支援を行っていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・スタッフの人数が、安定していない。	・スタッフの安定を図る。	・11月中旬に専門職スタッフの雇用があり、全員に業務を分配し全スタッフで分担して、支援をスムーズに行っていく。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	重症心身障がい児デイサービス トムテンジュニア岩出		公表日 日		令和 7年 12月 10			
			利用児童数		2名		回収数 1	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	はい 1	どちらともいえない 	いいえ 	わからない 	ご意見 	ご意見を踏まえた対応

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表				
重症心身障がい児デイサービス トムテンジュニア岩出		公表日 令和7年12月10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・支援室外にバギーを並べるなどして対応している。	・現在以上に利用人数が増える場合は考える必要がある。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		・現在以上に利用人数が増える場合は考える必要がある。 ・利用人数の変動があるため一概には言えないが、看護師の増員が課題である。 ・人工呼吸器管理等の重度の児がいるが、看護師の人数が少ない。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・ブレイマットを敷き寝転べるようにしている。 ・視覚的に楽しむことが出来るように壁面飾りや天井飾りなど、季節や行事予定に合わせて制作し、毎回変えている。 ・室内は毎日営業後、除菌スプレーを使用し清掃を行っている。 ・毎日清掃、消毒を行い、清潔に保っている。 ・玩具の収納場所を決め、わかりやすくテープを貼っている。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・アコードィオンカーテンで仕切っている場所を作っている。 ・発熱時には、別室が事務所にて対応している。 ・当事業所では、個別の場所を子どもから使用したいという要求はないが、アコードィオンカーテンで仕切り、必要に応じることが出来る。	・個室としては無し。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・毎月のミーティングや、申し送りを通して行えている。	・PDCAを心掛けているが、臨機応変を問われることが多く感じる。 ・振り返りが十分とは言い難い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・スタッフ間での意見交換が常に行われており、その都度改善されているようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		・第三者委員会をしていないので該当していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・ZOOMなどで定期的に行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・作成されている。 ・申し送りや、月のミーティングで話し合っている。 ・保護者様からの要望には、迅速を心掛けている。連絡は密に行っている。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・毎月のミーティングで話し合い、共通理解をしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・計画書がいつでも誰でも見れるようにされている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		・チームで検討はできていない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・様々な活動を取り入れ、好きな事、興味のあることを含んだ活動を取り入れている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・事前の打ち合わせはあまり出来ていないが、都度コミュニケーションをとり連携している。 ・利用日には、スタッフ間での情報を常に共有し、スムーズに支援できるように配慮している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		・振り返りは十分に行えていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の觀点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
		(31は、事業所のみ回答)				

	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	・幼稚園等とは交流は持てていないが、他事業所の利用者様との関りはある。 ・他事業所とは交流を持っている。 ・他事業所との交流の機会はある。	・感染症の兼ね合いもあり、なかなか交流が持てずにいる。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・連絡帳や送迎時のコミュニケーションにより、情報共有が出来ている。 ・送迎時の短い時間ではあるが、保護者と連携を図り共通理解に努めている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・保護者様のニーズに合わせて、情報提供を行っている。	
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・出来ている。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・悩みを聞き、スタッフ間でも共有し適切な対応が出来るよう努めている。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		・利用児童が1名だったため、交流を持つことができなかつた。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・春夏秋冬で通信を作成し、各ご家庭・支援学校などに配布している。 ・LINEなどを利用している。	・HPはあるが、内容の更新が出来ていない。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報が載っている資料などは、棚の中に片づけるなど徹底している。 ・十分に注意している。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		・感染症等のリスクを回避するため、開催できていない。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・緊急時の対応のシミュレーションを行っている。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		

	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハットがあがると、全スタッフが見終わると押印し、防止策をその都度話し合い共有を徹底している。 ・迅速に対応策を検討できている。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待研修を年2回実施している。 ・訓練室の防犯カメラがあり、常に他の人の目を考え、防止に繋げている。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・発作時等で怪我に繋がらないように、身体の補助をすることを保護者様へ確認させていただいている。	